



～前期生集会 学校長の話～

2021年、令和3年も残すところ、1週間となりました。

日々、何かに追われて、一日一日を生きていると、昨日と今日、おとといと昨日、今日と明日など、大きな事件でもないかぎり、ほぼほぼ同じような毎が続いていると感じてしまいがちです。しかしながら、1年、5年、10年、100年というまとまった時間で振り返ってみると、その変化を意識することができます。

例えば、年末恒例のNHK紅白歌合戦を例に見ると、昭和の時代には、赤と白、それぞれの司会が、ステージの両脇にたち、まさに対立するように応援していましたが、今では双方中央で仲良く互いをたたえ合いながら司会をしています。本年度は、紅白の分け方、男女対抗戦という形式についても検討がされたと報道されています。

「世の中には、絶対というものはない。」私が父親から教えてもらったことで一番心に残っている言葉です。

だから、自分で考えなくてはならない、いろいろと調べ学ばなくてはならない、異なる考え方の人とよく話し合わなければなりません。

でも、どんなに考えても、調べても、わからなくて、うまくできなくて、苦しい時があると思います。

そんなとき、人はどうするのでしょうか？

最近読んだ、川村元気さんの新作『神曲』では、何を信じていいのかわからない不信の時代といわれる現代で人はどう生きるのかということを描いていました。

この作品は、4人の家族の中で一番年下の小学生の男の子が、学校の前で通り魔に惨殺されるという凄惨な場面から始まります。この事件により、家族それぞれが心に大きな痛手をおい、その傷を隠しながら日々の生活を送っています。やがて、母親は、永遠様を信じる宗教に救いを見だし、その母親との絆を保とうと、娘や父親も、その信仰に身をゆだねます。しかし、しだいに娘はその信仰に疑問を感じ、違う道を選ぼうとします。

「神曲」とは、イタリアの詩人ダンテの書いた詩のタイトルでもあります。キリスト教を背景に、主人公のダンテが地獄、煉獄、天国を回るという壮大な詩です。川村さんは、この偉大な古典詩を意識しながら、現代に生きる家族の苦悩と再生、救済について描いています。

どんなに科学が進んでも、医学が進んでも、人間の不安とストレスに対する万能の治療はありません。そんなときに、信じるものがあるかどうか、何をよりどころにするかは、よりよく生きる上で重要なことです。

さて、科学の世界も同様です。以前、ヒットした光文社新書の『99.9%は仮説 思い込みで判断しないための考え方』のタイトルにもあるように、科学ですら、絶対ではありません。科学が進めば進むほど、わかればわかるほど、わからないことが多くなってくる、これが科学の世界であり、そうした「わからないこと」を発見する力、それを解決する方法を見いだす力が今求められています。

2018年のPISAの読解力の問題に、「ラパヌイ島問題」と呼ばれる問題があります。ラパヌイ島とは、皆さんになじみのある呼び方ですと、イースター島ですが、ここにあるモアイ像、あの巨像を作った文明がなぜ滅んだかという研究をしている大学教授のブログを読んで、その学説の主張と根拠をとらえ、対立する別の学者の学説と比較しながら、その対立点や、民族滅亡の理由を自分なりに考えるという問題です。これはネットから実際に見ることができるので、ぜひ、挑戦してみてください。

みなさんが、大学入試を受けるころには、「情報」という新しい教科が入ります。この問題は、その一端であるともいえます。

「世の中に絶対はない」 これをわくわくして受け止められるか、不安でしかたないと感じるか、それは人それぞれ、そのときの状況や気分にもよるでしょう。

不安でしかたないとき、何を信じていいのか、何が正しいのか、どうすればよいのかわからないとき、どうすればよいのか？

詩人である川崎洋さんは、こんな詩を書いています。

ウソ

川崎 洋

ウソという鳥がいます
ウソではありません
ホントです
ホントという鳥はいませんが

ウソをつくと
エンマさまに舌を抜かれる
なんてウソ
まっかなウソ

ウソをつかない人はいない
というのはホントであり
ホントだ
というのはえてしてウソであり

冗談のようなホントがあり
涙ながらのウソがあって
なにがホントで
どれがウソやら

そこで私はいつも
水をすくう形に両手のひらを重ね
そっと息を吹きかけるのです
このあたたかさだけは
ウソではない と
自分でうなづくために

どんな不信の時代にあっても、何を信じたらよいか、わからないときでも、一つだけ、自分自身が、今ここにいること、そのことをいとおしく思うこと、大切にすること、これがすべての原点であると思います。

一年を振り返り、新たな一年に、自らの成長の希望をもって、また、会いましょう。 よいお年をお過ごしください！

- ※ 川村元気『神曲』新潮社 <https://www.shinchosha.co.jp/book/354281/>
- ※ ダンテ『神曲』 <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A5%9E%E6%9B%B2>
- ※ OECD 生徒の学習到達度調査 (PISA) ～ 2018 年調査問題例～ ラパヌイ島問題
https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/2018/04_example.pdf

～総合的な学習の時間・総合的な探求の時間より～

11月18日（木曜）に4・5年生が、12月23日（木曜）には3年生が、総合・探求の中間発表会を行いました。個人で追究中の「起業家プラン」について発表しました。

当日は大学、企業、行政の方々から多数おいでいただき、専門的な見地からのアドバイスを受けました。今回のアドバイスをもとに、3月の発表会に向けてさらに探求活動を進めていきます。

【4・5年生の発表のようす】 参観者が興味のある発表を自由に選ぶ形式で、参観・意見交換をしました。



【3年生の発表のようす】

講師の方に各グループ専属でついていただきアドバイスを受けました。



「課題解決にチャレンジするビジネスプラン作成のヒント」をテーマに、ビジネス支援センターの百合岡様からご講演をいただきました。

